

令和4年度ホタテガイ採苗情報（第4報）

令和4年5月18日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



唐丹湾ではホタテガイの付着が継続、付着稚貝数は増加傾向。

< 調査結果の概要 >

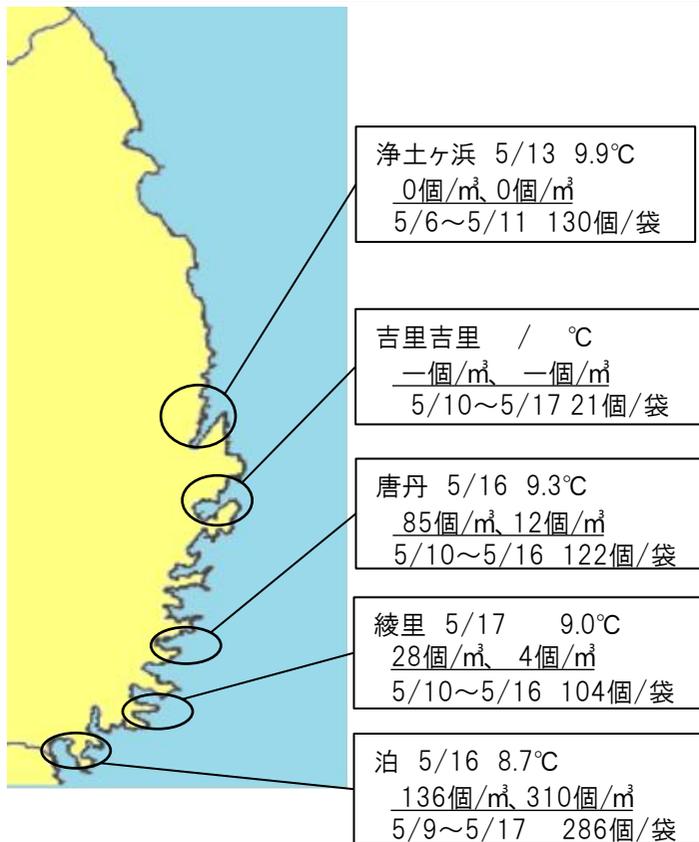
- 唐丹湾の水深10m層の水温は9.3℃で、透明度は10.0mでした。
- 唐丹湾では、殻長200μm未満の小型のホタテガイラーバが85個/m³、200μm以上の大型のラーバが12個/m³出現しました。
- 唐丹湾ではホタテガイ付着稚貝が122個/袋（採苗器6日間垂下）確認され、そのうち付着直後の稚貝は80個/袋（ホタテガイ付着稚貝数全体の65%）でした。
- 県下沿岸各地でも稚貝の付着が継続しています。

< 陸奥湾の状況（5月12日発行ホタテガイ採苗速報（第5号）） >

- 稚貝の付着が終息。西湾では付着数が少ない見込み。

< 宮城県の状況（5月12日発行ホタテガイ採苗通報（第3報）） >

- 小型～大型幼生が確認され、幼生数は増加。
- 付着稚貝が確認されている。



調査点 調査日 水深10m層水温
ラーバ出現数(殻長200μm未満, 200μm以上)
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、5月25日頃に
発行する予定です。

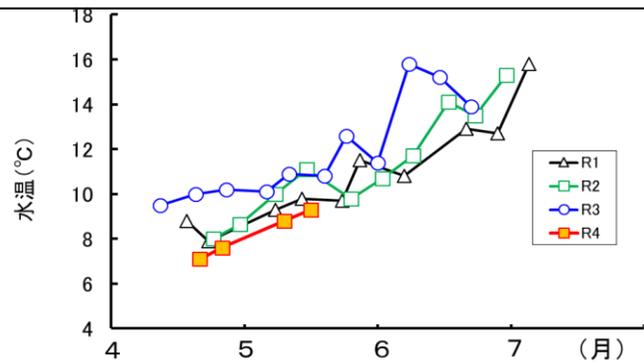


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

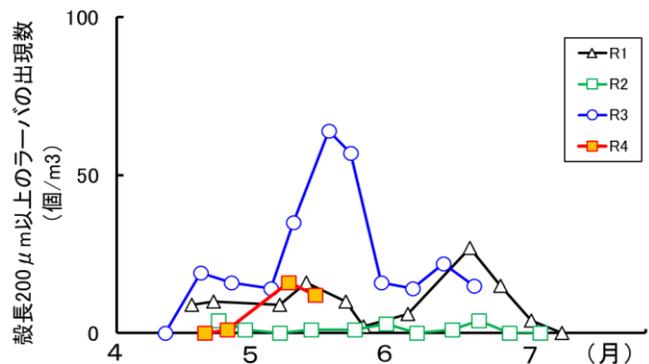


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数

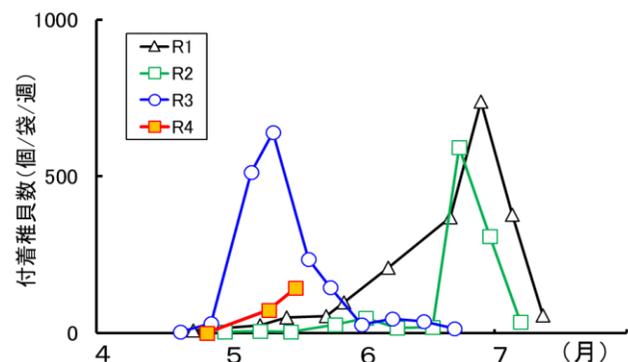


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ付着稚貝数